

人物伝 武士の足跡 [其ノ一]

備前・美作・西播磨の排出した武士の史跡を訪ねて。

モデルコース(二泊二日)



- 赤穂温泉 (赤穂観光協会 0791-42-2602)
- 晴れの国 おかやま館 (086-234-2270)
- 備前名物: カキオコ
- 赤穂名物: 塩味饅頭
- 上郡町名物: 円心モロどん
- 佐用名物: しかコロッケ

人物伝 ◀ 武士の足跡 [其ノ二]

人物伝 武士の足跡 [其ノ二]

備前・美作・西播磨の排出した武士の史跡を訪ねて。

大鳥圭介



大鳥圭介(1832~1911年)西洋軍学者、幕臣、軍人、官僚、外交官。正二位勲一等男爵。上郡町岩木丙石戸に医業を営む大鳥直輔の長男として生まれ、閑谷学校で漢学、儒学、漢方医学を学び、大坂の適塾、江戸の大木塾、江川塾を経て幕臣旗本となります。五稜郭で官軍と戦い敗れましたが死罪を免れ、明治新政府に出仕し殖産興業を推進するなど今の日本の礎を築きました。

赤穂義士



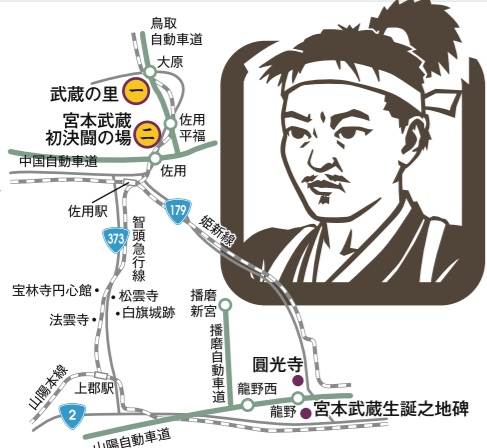
元禄14年3月14日江戸城松之大廊下で浅野内匠頭長矩が吉良上野介義央に対して刃傷におよびました。殿中での刃傷に徳川綱吉は激怒し、浅野は即日切腹、浅野家は断絶となりました。元禄15年12月14日、主君・浅野内匠頭長矩の恥辱をそそぐため、元赤穂藩士・大石良雄以下47名が吉良上野介義央を討ちました。

宇喜多秀家



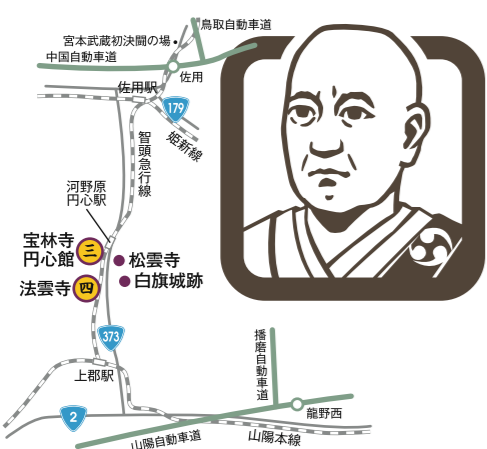
豊臣政権下の五大老の一人で通称は「備前宰相」、備前岡山57万4千石の大名。元亀3年(1572年)、備前国岡山城主の宇喜多直家の次男として生まれました。織田信長の計らいにより幼少ながら本領を安堵され、家督を継いだ秀家は、羽柴秀吉による備中高松城水攻めに協力しました。後に元服した際、豊臣秀吉より「秀」の字を与えられ、秀家と名乗りました。

宮本武蔵



宮本武蔵(1584?~1645年)江戸時代初期の兵法者。二天一流剣法の開祖で、日本の剣道史上最も有名な兵法者の一人です。13歳で初めて試合に勝ち、生涯60余度の試合で一度も負けなかったといわれています。

赤松円心



赤松円心(1277~1350年)鎌倉~南北朝時代の武将、守護大名。足利・新田・楠木らとともに鎌倉幕府討滅を果たし、足利尊氏の室町幕府成立の原動力になりました。禅宗に帰依しており、雪村友梅や宗峰妙超を招いて法雲寺や福田寺の堂宇を建立しました。

一 武蔵の里 D 3 武蔵の里五輪坊 0868-78-4600 クアガーデン武蔵の里・武蔵資料館・青年期宮本武蔵像・宮本武蔵生家跡 ほか 武蔵生誕地として近年開発が進むエリアの名称、武蔵ゆかりという伝承があるとされる旧跡、名所、顕彰施設が多数建設されていることで知られています。	宮本武蔵生誕之地碑 E 5 太子町観光協会 079-277-2566 宮本武蔵生誕の碑が宮本児童公園に建立されています。また、武蔵生家跡として言い伝えられた場所には武蔵の産湯に使ったとされる井戸が残っています。
二 宮本武蔵初決闘の場 D 3 佐用町観光協会 0790-82-0670 宿場町平福の金倉橋のたもとで、武蔵は、13歳のとき新当流の達人有馬喜兵衛に初めての勝負を挑み一刀のもとに倒したといわれています。	龍野御坊 圓光寺 E 5 龍野御坊 圓光寺 0791-63-0485 龍野御坊と呼ばれていた圓光寺。境内に武道場を設けて弟子を鍛えており、各地から猛者も集ったといわれています。武蔵もしばしばこの寺に出入りし、剣を指南したと伝えられています。
三 宝林寺円心館 D 4 松雲寺 0791-52-1277 赤松三尊像・白旗城四城主の絵馬・円心の肖像画・宝林寺の模型 ほか 宝林寺境内に隣接し、「赤松三尊像」と呼ばれる赤松円心・円心の三男別祐・別法和尚(雪村友梅の説もあり)および別祐の娘千種姫の木坐像をはじめ、円心や赤松家ゆかりの文化財を陳列しています。	岡山県立美術館 B 7 岡山県立美術館 086-225-4800 武蔵は秀れた画人でもありました。号は二天。晩年は熊手で茶・禅・書画三昧の日々を送りました。岡山県立美術館では「周茂叔図」「遊鶴図」「布袋図」を所有しています。(公開期間:問い合わせ)

四 法雲寺 D 5 法雲寺 0791-52-4129 1337年雪村友梅を開祖として、赤松則村(円心)が建立した赤松氏の菩提寺です。境内のビャクシンは幹周では日本最大のビャクシンで県指定天然記念物に指定されています。	松雲寺 D 4 松雲寺 0791-52-1277 もと赤松円心の居城として名高い白旗山(東方の峻険)山麓に赤松貞範(円心次男)が建立した菩提寺を継承しています。赤松氏のかかわりの深い名刹です。
五 赤穂温泉 D 6 赤穂温泉(宿泊) 赤穂温泉(寄り道) 圓光寺(寄り道) 宮本武蔵(寄り道) 生誕之地碑(寄り道) いぎいき交流ふるさと館	白旗城跡 D 5 上郡町教育委員会社会教育課文化財係 0791-52-2912 1336年後醍醐天皇と対する足利尊氏に味方した赤松円心によって築かれ、新田義貞の50日もの城攻めに耐えた難攻不落の山城です。嘉吉の乱で赤松氏が一旦滅ぶまで固守されました。
六 赤穂大石神社 D 6 赤穂大石神社 0791-42-2054 義士宝物殿・義士木像奉安殿・大石内蔵助邸庭園 など 浅野長直が13年かけて築城した赤穂城跡の中にあり、大石良雄宅跡を中心に約3700坪の広さ。境内には義士木像奉安殿や宝物殿などがあり、赤穂義士の面影を偲ぶことができます。	白旗城跡 D 5 上郡町教育委員会社会教育課文化財係 0791-52-2912 1336年後醍醐天皇と対する足利尊氏に味方した赤松円心によって築かれ、新田義貞の50日もの城攻めに耐えた難攻不落の山城です。嘉吉の乱で赤松氏が一旦滅ぶまで固守されました。

五 いぎいき交流ふるさと館 (町立赤松公民館) D 5 いぎいき交流ふるさと館 0791-52-4605(町立赤松公民館) 大鳥圭介生家跡地(大鳥圭介関連展示) 幕末から明治にかけて活躍した大鳥圭介の生家を復元。館内では書物や地元住民手づくりの資料などが展示されています。 皆坂の滝(近湯スホット)	大鳥圭介 銅像 D 5 上郡町役場 0791-52-1111 上郡町役場には、大礼服姿の大鳥圭介像があります。日清戦争後、男爵位に封じられた際の姿と思われる。
七 閑谷学校 D 5 閑谷学校 0869-67-1436 庶民の子弟の教育を目的とした郷学の跡で学校建築としては唯一の国宝。閑谷学校の名声は、古くから天下に聞こえていたようで、圭介の他にも藩外からの来学がありました。	赤穂市立歴史博物館 D 6 赤穂市立歴史博物館 0791-43-4600 忠臣蔵を史実のみならず演劇や絵画など文化的側面からもとらえられます。

六 赤穂大石神社 D 6 赤穂大石神社 0791-42-2054 義士宝物殿・義士木像奉安殿・大石内蔵助邸庭園 など 浅野長直が13年かけて築城した赤穂城跡の中にあり、大石良雄宅跡を中心に約3700坪の広さ。境内には義士木像奉安殿や宝物殿などがあり、赤穂義士の面影を偲ぶことができます。	息継ぎ井戸 D 6 赤穂観光協会 0791-42-2602 刃傷事件の第一報を知らせる前に水を飲み一息ついたといわれる井戸。
赤穂城跡 D 6 赤穂市教育委員会 0791-43-6962 現在は櫓門の本の丸門、厩口門、本の丸御殿の基礎が復元されています。	花岳寺 D 6 花岳寺 0791-42-2068 1645年浅野長直公により浅野家の菩提寺として建てられました。
大石邸長屋門 D 6 大石神社 0791-42-2054 早駕籠で到着した早水藤左衛門、董野三平が叫びた長屋門です。	赤穂御崎 D 6 赤穂観光協会 0791-42-2602 東御崎展望台広場に赤穂を出兵する大石内蔵助の像があります。

八 岡山城 B 7 岡山城事務所 086-225-2096 昭和41年に再建、外装は金箔瓦、鯉にふきかえ、「金鳥城」と呼ばれた築城当時の姿を再現しました。国指定の史跡で現存する月見櫓は国の重要文化財。	高松城址公園 B 6 高松城址公園資料館 086-287-5554 秀家は幼少のため、叔父の宇喜多忠家が代理として軍を率いました。
--	---